

企画提案力も強みの印刷会社にもえしよくプロジェクトスタート



「お客様のブランド作りのお手伝いをコンセプトに当社、米谷では「もえしよくプロジェクト」の大阪兵庫京都の3支部を担当し、昨年よりキャラクタービジネスをスタート。

各地域にある食物・名産物産・企業などあらゆるものを擬人化という手法でキャラクター化する事で注目度をあげ、全国へそして世界にアピールします。それぞれの商品コンセプト・企業理念をキャラクターに持たせクライアント様の営業マンとともに活動。

「もえしよく」の仕組みは全国に5000人以上のご登録いただいている絵師(デザイナー)さんに全国公募をし約2ヶ月の公募期間中にエントリーされた数々の作品からコンセプトにあった作品をクライアント側がグランプリとして採用するというもの。費用はグランプリ懸賞金(任意設定)により変わりますが約30万円の予算でオリジナルキャラクターが制作できると同時に著作権もク

ライアント側に帰属することになるので自由に使用することが可能。低予算でオリジナルキャラクターが自社の社員として24時間365日休むことなくクライアント様の商品、会社をPRしてくれます。もえしよくのもえは「萌え」、もえしよくのしよくは「食・職」を足した造語ですが、キャラクターは萌えキャラだけでなくイケメンキャラや和風キャラ、武士キャラなど多種多様。

当初は食品などのキャラクター制作の依頼が大半でしたが、企業イメージとしてのキャラクター制作も増えてきており求人募集にも役に立っています。

実際、自衛隊の募集にオリジナルキャラクターが使用されていたり、大阪府警では可愛い女の子のキャラクターが交通安全を喚起しています。

ゆめーる封筒イメージキャラクター



夢野メル

夢野ふうと

クールジャパンの二つとしてポップカルチャーが世界に発信

まだまだこのようなキャラクターに抵抗を持つ人は多いのですが、今やアニメなどはマニアやおたくのものだけではなく、クールジャパンのアニメ文化として世界に発信され外務省、経済産業省からの支援も大きくなっています。

海外からの観光客の2割くらいはアニメから日本文化に興味を持ち日本を訪れているというデータもあり、秋葉原のドンキホーテさんでは「もえしよくコーナー」が設置されて、もっカレー、ふり



かけ、そうめんなど擬人化された色々な商品が外国人観光客に人気を得ています。

またもえしよくでは海外のフードフェスティバルなどにも積極的に参加し、もえしよく商品を世界に広める動きも行っています。

キャラクターを動かす

米谷ではキャラクター制作だけではなく、アニメクリエイターさんと組んでキャラクターを動かし人気声優さんにオリジナルテーマソングを歌ってもらうクオリティーの高いアニメーションも制作提案しています。

第一弾として桐灰カイロ様のキャラクター動画を制作しYouTubeで配信中。

創業60周年を迎えて

このようにキャラクターが商品をPRすることにより認知度が高まり売上の向上に貢献し、1社1キャラ、キャラは社章と同様な位置づけとしても提案しています。

昨年9月に迎えた創業60周年は社長就任10年目の節目でもありました。学校図書印刷を中心として同族経営の典型的な会社でありましたが社長就任と同時に身内は父の会長のみとし、異業種からの営業マンを次々に採用しました。

この10年で社員は20名ほど増え、営業も10名、デザイナーも3名、WEB制作スタッフも育成し、印刷機械設備が強みの会社から企画提案力も強みの印刷会社に変貌しつつあります。

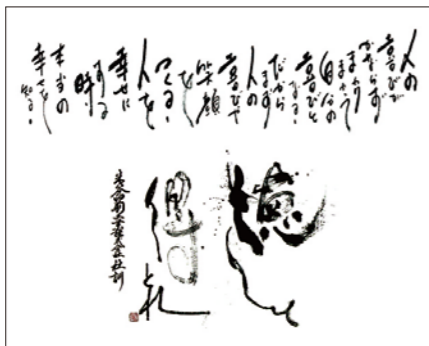
オリジナル封筒のハサミを使わず開かれる「ゆめーる封筒」はDM業のお客様にレスポンス率がアップすると好評をいただき、ゆめーる封筒の8割はDM封筒となっています。

検索エンジンの強化(SEO対策)を強みとする「Webbyon et」は受注に繋がるホームページの制作では専門のホームページ制作会社に負けないノウハウと実績があります。

「徳して得とれ」の精神で

社訓である「徳して得とれ」とは「徳」のある行いをすれば、廻り回って「得」がくるという意味です。まずは人のため、周りのために尽くすことであり、そうすれば相手または周りが評価をしてくれ自分に返ってくるという考えです。

従業員全員が「徳して得とれ」を実践すれば、チームワークが生まれ、モチベーションが上がり、現場での作業効率アップ、ミスの減少に繋がります。



楽しい会社

会社に来るのが楽しいと思えばこんな良いことはないわけです。逆に行きたくない会社というところ、従業員は暗く特定の者同士しか会話や付き合いがない、飲み会などのレクリエーションもない、





会社が汚い、トイレが臭い・汚い。数が少ない(男女共同)・落ち着かない、食堂がない、更衣室が汚いなど社内設備が古い。また上司はうんちくが多く、人望もなく、社長と従業員との距離も離れていることが多いと思います。

米谷では女関の等身大フィギュア(鉄人28号)とキャラクターパネルが来られる方をお出迎えします。1階、3階のトイレは防音完全個室で全ての便器に洗浄機付き便座、ハンドヒーターも設置、休憩時間に多くの人が使えるようにマッサーシチェアが9台、更衣室のロッカーも一昨年すべて更新、トレーニング施設、インドアゴルフ打席、従業員が使える宿泊施設、甲子園の年間シート、社内旅行も毎年行います。またゴルフ部、マラソン部、スキースノーボード、焼き肉部などの各種倶楽部もあります。

社内には最大100名ほどのパーティーが可能なイベントホールがあり、社内イベントだけでなく、各種セミナー、落語会、漫才、オペラなどを開催し、また一般に貸し出しも行っており、ヨガ教室、劇団さんの稽古場としても使われています。

2013年の1月4日放送の「吉本興業生誕100周年」の

ドラマの舞台にも当社が使われました。

しかし会社の福利厚生がいかに良くても従業員の『心が幸福』でなければ何の意味もありません。米谷では「心が幸福(豊か)」でなければ良い仕事ができないと説いています。そのなかでも人間関係が上手くいかないといけません。社内の人間関係だけではなく、親子関係、夫婦関係、姑関係、恋人関係、友達関係などで悩んでしまう仕事も上手くいかなくなりやすいです。人と上手く付き合うには、相手に合わせることを、譲ってあげること、自分の我を押し通さないこと、人のために行動すること、すなわち、徳して得とれの精神であります。

また趣味を持つことも勧められています。しんどい、つらいことがあっても趣味の時間はそれを忘れさせてくれ、そのために頑張ろうと思うこともできます。

従業員の自主性を育てる

従業員の自主性を常に大事にしています。自分達で考え行動する、そして結果がついてくることを常に目指しています。営業部には日報は無く数値目標も求めています。しかし彼らが自分たちで数値目標を立て行動して

営業部は複数のチームに分かれ、得意分野、不得意分野で仕事を振り分けておりこれも彼らが考え実践しています。

ですので社長が営業会議に出ることはめったにありません。米谷では従業員パート、女子社員を除く全員が年俸制になっています。現場も営業と同じく固定給で残業手当も固定。この制度を導入して10年近くになり、当初は反対もありましたがこれを導入してから生産性の向上、ミスの減少、残業時間の短縮、チームワークの向上につながりました。

すなわち早く仕事すれば早く帰れる訳で暇な時期にだらだら仕事をしていると忙しくなった時のスピードアップがなかなかできません。日頃から効率よくする癖をつけないとだめなのです。早く仕事をこなそうとすると工夫が生まれ、緊張感が生まれ、協調性が生まれることにより、生産性が上がり、ミスが減り、結果残業時間が以前の約半分に短縮されました。(手当の額は変わらず)

トップの仕事

「社長はチームスポーツで言えば監督であり、理想はラグビーの監督です。監督は選手が全力で走り回れるフィールドを提供し常に良い状態を維持する。試合が始まればキャプテンが中心となり自分達で考え動く。主役は選手で監督は縁の下力持ちに徹することが重要と考えます。」

「社長は会社の『将来』『夢』を内外に発信し、時には広告塔として奔走し営業マンのフォロワーをする。夢の実現のためには周りを巻き込んでいくことが重要です。しかし有言不実行になるのを嫌がり、不言実行が格好いいと考えている人が多いのでは。自分一人の力など微力で周りの協力なしに夢は成し遂げられません。結果が出なくても責められることなどないですし、やらないよりやった方が評価されるのです。失敗も経験という財産なのです。」

「、上手いかない時は早く軌道修正することも大事です。あくまでも大胆な変更、早期の撤退も必要です。」

「常にバランスとタイミングと距離感を意識。」

「人材を育てるというより成長してもらったためのヒントアドバイスをし、自分で気づき、自分

自身で考え行動できる人になつてもらおう、これが人材育成だと考えます。

「危機管理としてミスが発生した時はトップが瞬時に動くこと、ミスの情報がすぐに入ってくるような体制にしておくこと。ミスを絶対に責めない、ミスは起きるものとして対策を共に考える実行し、積み上げて経験値とする。ミスはトップの責任です。」

「金融機関との緊密な関係。魅力的な会社には良い人材、良い情報、仕事が自然と集まります。会社をコミュニティスペースとしてとらえ多くの方にお越しいただけるように日々考え実践しています。」

社名変更

社名に業種が入っていると何をやっている会社かすぐにわかるのですが、社名に印刷会社とあれば『印刷』しかできない会社と思われてしまいます。現在は印刷事業部、封筒事業部、デザイン事業部、アニメ事業部、WEB事業部、レンタル事業部と6つの事業部があることから社名を変更することにしました。

社名変更後は名刺交換時に何をやっている会社ですかと必ず聞かれ、そこで事業内容の話

ができる機会が生まれました。旧社名の時、「もえしよく」の営業で訪問したお客様のところで「印刷会社はどうしてこんなことされているんですか?」と言われていたことがありました。「もえしよく」は印刷会社の仕事の延長線上にあると思いましたが「一般の人はずそう思っていないようです。今や印刷会社は紙にインキ・トナーをのせる仕事をするだけと認識されているのが大半ではないでしょうか。一般の大多数は印刷会社に求めることは「早く、安く」であり、そして「データから」と「コマール」されていることも影響していると感じます。以前は名刺交換をすると、社名を見て「あー印刷会社さん、大変でしょう」と言われることが少なからずありました。また印刷会社とわかれば相手に興味を持たれていないような気にさえなることがあります。

このようなことから社名変更は必要不可欠となりました。

新社名は株式会社米谷、カタカナに変更する会社は多いですが、あえて漢字で「米谷」としました。

米谷の「米」の字は四方八方に伸びている字であり「八」「十」「一」が組み合わさった縁起の良い漢字であります。

■企業データ

社名:株式会社 米谷
 設立:昭和29年9月
 資本金:1,000万円
 代表者:代表取締役社長 米谷 一俊
 本社:〒532-0034
 大阪市淀川区野中北2-1-22
 TEL.06-6150-1328
 FAX.06-6150-1329



社名変更後、脱印刷ですねと何度か言われたことがありますが、印刷力は今も米谷の主力であることに違いはなく、服で言えば今までは「印刷」は上着でしたが今は下着として常に身につけているそんな感覚です。

ちなみに米谷の電話番号の下4桁は1328で「いんさつや」と読めます。

お後がよろしいようで、
 (株)米谷 米谷一俊

4Fエレベーターホールにある額